

カラス対策について

繁殖期のカラスにご注意！

カラスの繁殖期は3から8月頃です。3月頃から巣作りを始め、4から5月に産卵し、5から6月にヒナが育ち、6から8月にヒナが巣立ちます。この時期は、カラスの相談が多く寄せられます。これはカラスが、卵やヒナを守るために人を威嚇行動・攻撃するからです。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9から2月	対策
行 動	繁殖期							ゴミ対策 餌付禁止
	巣作り							
		産卵						
			ヒナが育つ					
				ヒナ巣立ち準備・巣立ち (特に危険な時期)				
							ねぐらで生活	樹木の剪定

巣立ちの時期は特に危険です！

巣立ちの時期（6から8月）が近づくと、ヒナは羽ばたきの練習を始めます。しかし、うまく飛べないため、時には道路や庭などの地面に落ちることがあります。ヒナが地面に落ちた時は親鳥がビルや電柱の上からヒナを見守り、周りを監視しています。お出かけの際はできるだけ迂回路を通りカラスの巣に近づくのはやめましょう。

種類・特徴

	ハシブトガラス	ハシボソガラス
大きさ	全長約56cm、体重約700g	全長約50cm、体重約500g
特徴		
鳴き声	カァカァ（澄んだ声）	ガァガァ（濁った声）
鳴き方	頭を前に出して尾を上下	頭を上下
好む食べ物	木の実、肉類	農作物、昆虫
棲みか	森林と都市部	郊外～農村部

※身近にいるカラスは主にハシブトガラスとハシボソガラスの2種類。最近街中で見かけるのは主に森林で生活しているハシブトガラスです。

巣を作らせない！

○ゴミ集積所対策

- ・ゴミは収集曜日・時間を守りましょう。
- ・カラスがゴミを荒らさないように集積所のネットはきちんと掛けましょう。
- ・ビニール袋は口をきちんと閉じましょう。
- ・生ゴミは見えないように袋の奥に入れる等の工夫をしましょう。

○樹木の剪定

- ・繁殖期（3から8月）後は再び巣を作られないように樹木の剪定をしましょう。
- ・下からの見通しが悪く、二股や三股に分かれている枝を剪定しましょう。

○その他

- ・えさを与えない（カラスは「人は食べ物をくれるものだ」と思い人を恐れなくなります。）
- ・巣の材料となる針金ハンガーは物干場に放置しない。
※CD、目玉模様、大型鳥の模型、カラスの鳴き声テープ、ロケット花火等は効果が一時的なものです。



○巣の作られやすい場所

- ・高い常緑樹 クスノキ
- ・高い落葉樹 イチョウやケヤキ
- ・高い人工物 鉄塔、電柱、高架水槽の下など

※カラスの巣は繁殖期（3から8月）のみ使われ、他の期間は、林をねぐらとして集団生活をしています。

ご自身で防御を！

◆カラスが人間を襲う前に出すサイン（威嚇）に気づいて！

○威嚇行動する状況

- ・ヒナが落ちてしまったときや巣立ち直後のヒナが地面に近いところに下りた場合（ヒナが落ちていたら、かわいそうだと思っても、拾わずにその場を立ち去ってください。近くに姿が見えなくても親鳥はヒナを見守って、世話をしています。）
- ・巣より高い場所もしくは同じ高さの場所に立たった場合（マンションの屋上、ベランダ、踊り場）

◆ご自身で防御を！

○繁殖期（3から8月）は迂回路を通りカラスの巣に近づくのはやめましょう。

（カラスの縄張りは巣から半径20から100m）

○やむを得ず巣の近くを通行する場合は、帽子や傘で防ぎましょう。

○高い場所もしくは同じ高さの場所（マンション屋上、ベランダ、踊り場等）から巣をのぞかない。

○威嚇行動をされてしまった場合は親カラスに背を向けない。

（カラスは背後から接近し脚で蹴ります。くちばしで襲ってくることは、体の構造上ありません。）

巣の撤去！

○市では私有地の巣の撤去、カラスの捕獲及び卵の採取は行っていません。

○産卵前や巣立った後の巣の撤去は巣を作られた土地や樹木の所有者や、その場所を管理する方が行ってください。カラスの捕獲や卵の採取を行うには、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第1項」の規定により市の許可が必要です。

◆お問い合わせ 環境経済部環境課 環境保全担当

電話 04-2964-1111（内線 4225・4226）